

# 平成25年度 算数・数学教育研究部会（読書会）報告

## 第5回

平成25年10月18日（金） 午後6時00分～ 総合学習センター

『教育論文の書き方』

講師 岡崎市算数・数学部指導員 常磐中 平 任代 先生

### ●『教育論文の書き方』 講師 岡崎市算数・数学部指導員 常磐中 平 任代 先生

#### 1 教育論文を書く意義

自分を深く見つめ学び続ける教師の姿は、必ず子供に返り、自分に返ってくる。

#### 2 教育論文を書く上で必要なこと

日常から心掛け、教育論文を書く上でこころがけることがある。

- (1) 常に研究心をもつこと
- (2) 子供をとらえる力をつけること
- (3) 魅力ある教材を探ること
- (4) 先行研究を探ること
- (5) 学級の子供に即した授業をすること
- (6) 実践についての資料をまとめておくこと
- (7) 教育論文の書き方を知ること



<平先生のご講演の様子>

#### 3 教育論文の書き方

##### (1) 基本的な形式

基本モデル	モデル例 1	モデル例 2
1 主題設定の理由	1 はじめに	1 はじめに
2 研究の目標	2 主題設定の理由	2 研究のねらい
3 研究の仮説	3 研究の目標	3 研究の仮説
4 研究の計画と方法	4 研究の仮説と手だて	4 研究の計画
5 研究の内容	5 研究の計画（内容、方法）	（手だて、方法）
6 研究の結論	6 研究の実際と考察	5 実践と考察
7 今後の課題	7 まとめと実践と今後の課題	6 研究の成果と今後の課題
8 おわりに	8 おわりに	

##### (2) 内 容

###### ① 研究主題

- 論文の内容を的確に表すようにします。
- 簡潔で、意図と研究の切り込み口が明確に読み手に伝わるようにします。

例えば、

- 研究のねらい・目標
- 研究の対象・領域
- 研究の手だて・方法

を入れたりするとよいでしょう。

## ② はじめに

### ㉞ 子供をとらえる

子供に見られるいくつかの具体的な事実を掲げ、そのよさや足りなさ、または伸びようとする芽を明らかにします。

### ㉟ 子供に願いをかける（求める子供の姿）

何によって、どのような子供を育てていこうとするのか、求める子供の姿を具体化します。

## ③ 研究の計画（仮説とその検証の手だての具体化）

求める子供の姿の具現に向けて、教科・領域の特性をふまえた目標を設定し、どのような研究を進めていくのかを明らかにします。教師の主張が一番明確にされるべき部分でもあります。

### ㊲ 仮説

仮説は、研究展開の軸です。求める子供の姿とのつながりを明確にしたいものです。

（子供のとらえ→求める子供の姿→そのための仮説）

仮説における重要な要件は、具体的に述べられ、独自性があることです。

◇仮説の備えるべき3つの要件

a ○○において	b ○○を○○することで	c ○○なるであろう
場・内容等 (研究対象の限定)	手だての工夫 (研究のポイント)	ねらい、めざす子供像 (検証方法の確立)

◇仮説の3つの機能

a どこで（場，対象）・・・研究の領域を限定する
b 何をどのようにすることによって（内容，方法上の工夫） ・・・研究の重点を決め，集中させる
c どう現状を変えようとするのか（子供の変容の姿） ・・・研究の結果を予測し，筋道を立てる

### ㉟ 仮説検証の手だての具体化

どのような内容を、どのような方法で実践し、仮説の検証を行うのかを明らかにします。ここが明確になっていないと、検証も不明確になってきます。

### ㊳ 教材の模索，吟味

- ・ 教材に解決する必然性があるか
- ・ 多様な追究が保障されるか
- ・ 内容に対する見方・考え方が深まり、教科の本質に迫ることができるか
- ・ 追究に見通しをもつことができ、適度な困難を伴うか
- ・ 既習の知識や技能を生かすことができるか など

## ④ 研究内容（実践と考察・資料を通しての仮説の検証）

私たち現場教師の実践論文であるだけに、実践部分に当たる「研究内容（指導の実際）」が教育論文の中心になります。だから、求める子供の姿に迫る過程を具体的な資料として示すことを通して、その要因となる手だての有効性を客観的に語るという構えが必要です。

### ㊴ 資料の収集

- ・ a 授業記録，b 学習記録，c 子供の生活日記・教師メモ（教師日記），d 写真（求める子供に迫っているもの，教師の手だてにかかわっているもの），e 子供作品等

#### a 授業記録

- ・ できるだけ詳しく記録しておきます。
- ・ 特に子供の発言を安易にまとめて書くことがないようにしたいものです。何気ないことばのなか

に求める子供に迫る姿（例えば、わかり方のプロセス）が見えてきます。それを逃さないようにしたいものです。

b 学習記録（授業日記）

- ・ 授業後に子供の活動や考えを明確に文に残すようにさせます。この授業日記に子供自身の変容の姿が見られることが多くあります。
- ・ 抽出児童を決めたり、座席表に記して累積することにより、単元を通した変容を見ることができます。

c 子供の生活日記・教師メモ

- ・ 低学年の子供において、自分で学習記録に残すことが難しい場合は、教師がその追究や活動の姿を教師メモとして記すことにより、資料とすることができます。
- ・ 毎日の実践のなかで生まれてくる感動や悩みを赤裸々に残すために、教師が書き綴る記録のことです。
- ・ 一人一人の子供の成長を願い、厳しく見つめる教師の思いが書かれたり、迷いやいらだちが書かれたりすることがあります。そのため、執筆者の実践に対する姿勢が読み手に伝わりやすくなります。

d 写真

- ◇ 論文中にはポイントをおとして添付します。
- ◇ できるだけ多く保存しておくといいますが、論文に使うときには、執筆者の主張に合わせて精選して使います。
- ◇ 単元や授業の核心に迫る部分での子供の姿を表す資料（授業記録や学習記録）は不可欠です。

④ 教師の手だて、子供の記録等の分析・整理

- ・ 子供との対話記録の分析
- ・ 写真の分析
- ・ 授業記録の分析
- ・ 抽出児童・生徒の分析

こんな資料は残念

- ・ 規定外の折込資料や別冊資料、余白を埋める資料
- ・ 縮小が行き過ぎて判読不能な資料
- ・ 薄く汚い文字で判読不能な授業日記
- ・ 手だてに関連のない写真
- ・ 変容を分析していない授業記録

⑤ プロットづくり

- ・ 読み手を引きつけるものにするように考えます。
- ・ 論文のねらい（手だての有効性）が明確になるような構成としたいものです。

○ 内容プロット…教師の手だてでプロットを起こします。（～で支える、～させる）  
実践を通しての主張が明確になる反面、実践の流れが読みにくい場合があります。

○ 状況プロット…活動内容や子供の姿でプロットを起こします。（～に気付くA男）  
子供の動きや実践の内容がよく分かりますが、経過報告のようになりがちです。

- ◇ それぞれに長所があり、執筆者の意図に合わせて選択するとよいと思われませんが、混在することは避けたいものです。

## ㊦ ページの割り振り

- ・ 論述の中心を考え、軽重をつけるとよいでしょう。

## ㊧ 論 述

- ・ 研究の仮説、特に、教師のとった手だての有効性という視点から、子供の姿で分析します。

### ◇留意点として

- ・ 研究の動機から考察まで、論旨が一貫したものでありたいものです。とりわけ、仮説と実践内容とにズレが起きないように気をつけることが大切です。主張したい論点にしぼって書かないとつじつまが合わなくなってきました。
- ・ 共同研究では、複数の実践を羅列するのではなく、それぞれの実践の研究における位置づけや相互の関連を明確にする必要があります。また、複数実践でないと主張できない内容について述べるように心がけたいものです。
- ・ 経過報告だけにならないよう、検証を確実にしたいものです。特に、教師の営みと子供の姿との関連を明確にするように心がけることが大切です。

## ㊨ 研究のまとめと今後の課題

### ㊱ 研究のまとめ

- ・ 仮説をプロットとするなどして、仮説が検証できたかどうかについて、述べるようにします。研究の成果を実践部分で述べた子供の姿をもとにできるだけ具体的に述べたいものです。

### ㊲ 今後の課題

- ・ 研究の仮説、研究の内容と方法の両面から明らかにすること。

### ㊳ 引用文献

## (3) その他

### ① 用語、用字の誤りのない明確な表現、表記であるか

### ② 論文の規定に準拠しているか

#### 【質問】

#### ○写真の使い方について

- ・ 変容前と変容後の比べるような使い方ができるとよい

#### ○抽出生について

- ・ 基本は一人で、変容を追っていく。どうにか変えたいと願いをかけた子が抽出生になる。

#### ○写真が光ってうまく使えない

- ・ 無理なら記述でカバーすればよい



<質問をする参加された先生>

今回は「教育論文の書き方」ということで、若い先生方を中心にたくさんの先生に参加していただきました。プロットの起こし方や資料の載せ方、抽出生や分析の仕方等について、具体例を挙げながら丁寧に説明していただき、とても分かりやすく勉強になりました。ありがとうございました。  
<六ツ美中学校 石原昌仁>